

● 明 治 大 学 ● 水 曜 会 会 報

第14号

発行所 明治大学水曜会
http://www.meiji-suiyoukai.com
編集・発行人 平松 哲也
発行日 2011年12月20日
印刷所 株式会社 盈進社
☎ 03 (3262) 3471



会 長 挨 拶

水曜会会長 平松 哲也

寒さ厳しき折柄、富士山もすっかり雪化粧しておりますが、会員の皆様にはご健勝にてご活躍のこととご推察いたします。日頃より水曜会の運営にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。この6月の総会にて第8代会長を拝命いたしました。須藤前会長からの引き継ぎとなりますが、『盛り上げよう！水曜会』をテーマに相談役の先生方をはじめ理事の皆様方たちと手弁当で活動していこうと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

私が理事に就任したのは、富田顧問が会長に就任されたときと記憶しております。富田顧問から直々に依頼の電話があり、「仕方がないか。」と思ったものでした。あれから14年、私が会長です。考えてみれば、あと4年で60歳となります。（加治屋先生は、あと4年で70歳です。）理事になってからは、本来の業務が多忙で理事会にさえ出席できない時期もありました。近年は、多少なりとも自分で自分の時間を決められる様に

なり、会の運営に参加してきました。会長になって初めての理事会では、理事会があることをすっかり忘れ、帰宅途中に事務局より連絡が入り改めて気がついた次第ですが、見事すっぱかしてしまい波乱のスタートになってしまいました。

今年は、地震、津波、豪雨、台風と自然の猛威が日本を襲いました。改めて自然に対する人間の無力感を思い知らされたようです。東日本大震災を始め、自然災害に被災された地域の皆さま、ご関係の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、救援、支援に携われた皆様にも、心から「ご苦労さま。」と申し上げます。

大学では、5月22日に「明建会60周年記念祭」が水曜会顧問の平川清氏を実行委員長に、須藤前会長はじめ先生方も実行委員を務められ神田駿河台にて開催されました。午前中からのパネル展示、午後から記念イベント、夕方からの懇親会と盛りだくさんのメニュー、皆様大変ご苦労様でした。発行された記念冊子に水曜会も名刺広告の掲載をしております。

水曜会では、事業計画の通り皆様に参加していただける場を用意しております。縦の輪と横の輪、そして師弟の輪で出来ている水曜会です。みんなで輪を広げていきたいと考えておりますので、皆様のご参加をお願いいたします。

明治大学 水曜会 平成23年度役員名簿

★：新任

役 職	氏 名	担当部会	卒 年	研究室	勤 務 先	役 職	氏 名	担当部会	卒 年	研究室	勤 務 先
会 長★	平松 哲也		1979	貝 塚	久米エンジニアリング	11	上藤 英昭		1984	篠 原	須賀工業
副会長	田村 仁一	広報	1976	篠 原	西原衛生工業所	12	内田 臣哉	事務局	1988	貝 塚	久米設計
副会長★	志賀 一鑑		1978	篠 原	佐藤総合計画	13★	味元 健夫		1990	貝 塚	久米設計
1	尾崎 幸平	運営	1977	貝 塚	ビルネット	14	中谷 豊		1992	貝 塚	I.N.A. 新建築研究所
2	中村 昌行	研究	1978	篠 原	東京ガス都市開発	15	久保隆太郎	広報	2000	加治屋	日建設計総合研究所
3	坪 洋明		1978	貝 塚	ダイダン	16	中澤 大	運営	2005	加治屋	山下設計
4	伊豆丸 暢	運営	1982	篠 原	テクノ菱和	17	光永 威彦	事務局	2006	坂 上	山下設計
5★	小山 実	事務局	1982	坂 上	日比谷総合設備	18	蛭田 厚大	研究	2007	加治屋	佐藤総合計画
6	戸邊 和幸	運営	1982	篠 原	東京ガス	19	松木 直哉	広報	2007	加治屋	山下設計
7	森下 剛		1982	坂 上	明治大学	20	小野 浩己	広報	2008	酒 井	博士課程
8	吉田 孝之	研究	1983	坂 上	野村不動産	監査役★	谷村 正道		1970	篠 原	レックコンストラクション
9	岩本 吉隆	研究	1983	坂 上	安藤建設	監査役★	嘉治 憲夫		1971	篠 原	鹿島建設
10	金井 伸二	広報	1983	篠 原	東京建物						

技術見学会報告

研究部会 中村 昌行 (1978年 篠原研)

本年度の見学会は11月11日(金)に東京ガス千住見学サイト「E i - WALK (イー・ウォーク)」で23名(OB会員13名、大学より加治屋先生、酒井先生、学生8名)の会員に参加いただき、スマートエネルギーネットワークの実証試験施設と新しいエネルギー利用とライフスタイル提案のコンセプトハウスを見学しました。

参加者は見学者説明用施設「コンセプトルーム」(設計：伊藤豊雄氏)に集合し、東京ガス担当者より見学施設の概要説明を受けた後見学に移りました。スマートエネルギーネットワーク実証試験施設は敷地内で製造される分散型エネルギー(ガスエンジンコジェネで製造される電力と排熱、発電電力により製造される冷熱、ガス燃焼による冷温熱)と再生可能エネルギー(太陽熱、太陽光発電)を混合させ、冷温熱導管や電力線で構成されるエネルギーネットワークと情報通信技術を活用

して構内の建物間や地域間で面的に最適利用を図ろうとするもので、構成する熱源システムや制御技術の見学と説明を受けました。あいにく当日は小雨の降る寒い日でしたが屋外での説明も含め1時間ほど構内を巡り見学を行ないました。次に、家庭におけるエネルギー利用とライフスタイルの新しい提案を行なうコンセプトハウス(「暮・楽・創ハウス」(く・ら・そうハウス))で今話題のHEMSや太陽エネルギー(熱と電気)、燃料電池などによって熱と電気を上手につくって効率よく使う生活提案の実験住宅を見学しました。研究部会では毎年見学会を開催していますので会員の皆さんの参加をお待ちしています。



講演会概要

平成23年 ここの夏の省エネルギー 対策——地球温暖化の防止に向けて

山下幸人 (1973 年篠原研)

3月11日の東日本大震災による原発の発電停止により、電力供給不足が発生し、計画停電等の強制的な電力供給停止が実施された。この措置により大規模停電は発生しなかったものの、社会活動に甚大な影響を与えた。

そのため平成 23 年盛夏に電気事業法 27 条の規定により契約電力が 500kW を超える大口需要家では最大電力量の 15% を規制することとなった。対象となる大規模事業所では、平日操業を短縮、土曜日曜日に操業をシフト、自宅勤務、執務スペースの縮小、室温を 27℃～28℃に設定、照明の間引きなどの節電策が実施された。また交通機関では電車運転本数の間引き、また一般の家庭でも、日よけ、扇風機を使用する、冷蔵庫の扉開閉を少なくするなどの節電対策が実施された。その結果、昨年の最大電力需要（5999 万 kW）に対し、大口需要家で 29%減、小口需要家で 19%、家庭で 6%と大きな節減が達成された。

この節電効果の中には、生産性が低下し経済活動に支障をきたすものや、日常生活に大きな我慢を強要するものが多く含まれている事は否定できないが、経済活動や日常生活を見直し無駄を省いたことで得られた節電対策も多く含まれていることも明らかである。東日本震災から半年を経過した9月までの各月の電力使用量について、病院3件、商

建設業界セミナー(就職ガイダンス)

事務局 小山 実 (1982 年坂上研)

今回で 3 回目になる建設業界セミナーを平成 22 年 12 月 15 日（水）に新ゼミ生（設備・環境系）約 30 名に対して開催しました。主旨は、研究テーマの選考や就職先の検討の参考になるように説明しました。坂上先生の挨拶のあと、平松事務局長（現会長）による建設業界全体と水曜会の説明、エネルギー供給会社（高

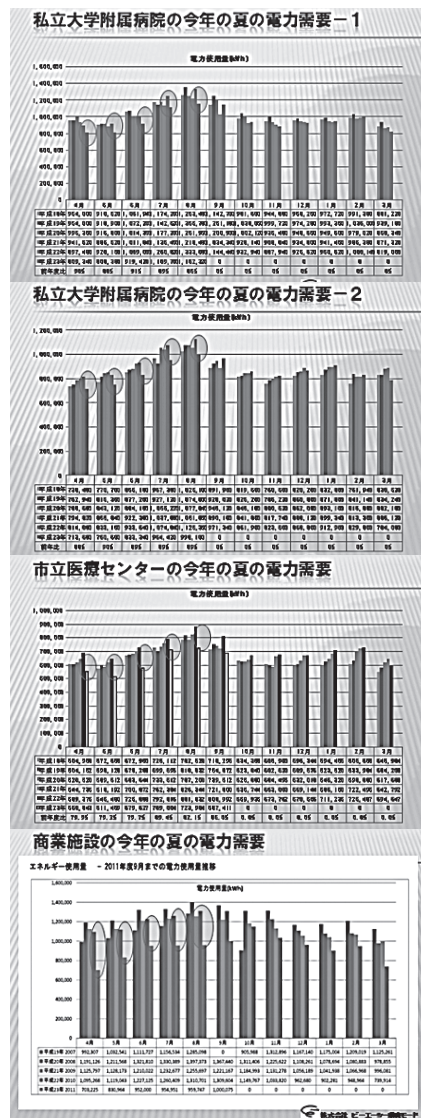
建築設備研究室

教授 坂上 恭助

建築設備研究室では、都市・建築の給排水システム、衛生器具等に関わる技術の開発・研究を軸



業ビル1件の実例を次に示す。

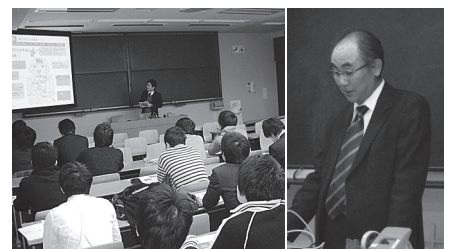


これらの実例の建物では、いずれも従来の建物運用を変更することで達成したもので、省エネルギー機器を導入して得たものではない。エネルギーコンサルタントの立場から、“運用改善による省エネルギー活動は、その実施においては省エネルギー意識を高める啓蒙活動がぜひとも必要で、その結果5%～10%の大きな削減効果が得られる”ことを訴えてきたが、そのことが証明された感がある。この経験は、東日本大震災を契機にいやおうなく行った活動では有るが、今後の省エネルギー活動に繋がるものであることに疑う余地は無い。そこで、“これからの省エネルギー対策”として次のことを提案したい。

- ①今年実施した省エネルギー対策のうち、コストをかけず運用の見直し（改善）で実施したものを整理する。
 - ②その中から、大きな不便を伴った対策を絞り込む。そこでは、少し我慢すれば十分耐えられそうなものは含めない。
 - ③結果残った省エネルギー対策は、今後継続していける対策か否かを吟味する。
 - ④削減目標を設定する。今年 15%の削減したのなら半分の 8%の目標設定は容易なはずである。
 - ⑤継続を決定した省エネルギー対策を確実に実施する。そこでは、今年の経験と達成した成果を啓蒙活動のツールとして最大限利用する。
- このような省エネルギー活動の継続は、地球温暖化の防止や CO₂ 排出量の削減に大きく寄与するものと信じている。

鳥氏)、不動産会社(金井理事)、設計事務所(中澤理事)、ゼネコン(岩本理事)、サブコン(小山理事)に関して現場の裏話を含めた生の声による業界説明を行いました。セミナーの後には学生食堂で先生方、OBと学生の恒例の親睦会(こちらの方がメイン?)を行いセミナー以上の活発な意見交換が行われました。平成23年度の内定先は下記の通りです。平成23年度も建設業界を元気にするために12月に開催する予定です。

就職先一覧	22年度	23年度		22年度	23年度
ゼネコン	3	6	公務員	3	—
サブコン	6	8	住宅メーカー	4	—
設計事務所	2	2	その他	6	—
設備設計	1	—	進学	7	11
デベロッパ	1	—	未定者	4	9
エネルギー供給	2	—	合計	39	36



に、給排水設備をとりまく社会情勢、国際比較等も行い、今後の建築水環境のあり方について検討しています。その一環として、毎年度、各国の文献訳出を行っており、今年度は英国の給排水規格を取り上げています。現在、本研究室では以下の研究に取り組んでいます。

- ①水封式トラップの性能評価手法：圧力発生装置を用いた、トラップの耐圧力性能試験法に関する検討
- ②節水型便器の性能評価：便器の耐圧力

性能に関する検討

- ③実大排水タワー実験における実管内圧力データの解析：カットオフ振動数の検証
- ④サイホン排水システムの流れ特性の実験的研究：サイホン排水システムの工場排水への適用に関する実験
- M-2 森村 玄
- M-1 藤村和也 吉浜空広
- 卒論生 松下康二 金 健三 杉山哲也
- 田辺勇太郎 大橋由基英
- 鬼頭 均 福山豊一郎

平成 22 年度水曜会賞

選考講評 酒井 孝司

水曜会の選考対象論文は、坂上研6題(9名)、酒井研9題(9名)、加治屋研7題(9名)、上野研9題(9名)の合計31題(36名)でした。坂上先生、加治屋先生、上野先生および酒井で各研究室1題を選考し、以下の4題に決定しました。坂上研究室：松山尚樹君・吉浜空広君「サイホン排水システムの基本特性に関する研究－長配管の流れ特性に関する実験」；詳細な実験により、流入部や排水調整器の形状の差異や、排水調整器の有無が排水システム内の流れの様相および差異本作用に及ぼす影響を明らかにしている。酒井研究室：宮本弥生さん「床暖房室内における非定常自然対流現象のデータベース作成」；床暖房室の実大模型を用いて、窓面極近傍の温度測定実験を行い、乱れの弱い流れ場における

対流熱伝達現象を明らかにしている。加治屋研究室：増田強志君「LCEMツールを用いた空調システムの統合的評価手法に関する研究－既存建築における熱源システム更新の評価－」；LCEMツールを用いて、既存建築の熱源機器の特性を再現可能であることを示し、更に機器を更新する際のLCA評価を行って最適な更新システムを提案している。上野研究室：木方菜央さん「聴感評価実験による音楽練習室の音響設計手法に関する検討」；音楽大学の練習室を対象に、室形状や吸音等の建築的要素がフラッターエコーの聴感印象に及ぼす影響について数値解析と聴感実験を行い、設計指針を構築している。

年会費納入のお願い

本年度の会費の納入をお願いします。郵便局の振込用紙を同封させて頂きましたので、会報受領より1ヶ月以内にお願

います。振込用紙の通信欄に卒業年、研究室名のご記入をお願いします。また、銀行口座のご利用も可能です。尚、銀行口座の受取人名は事務局の手違いにより昨年度のままとなっております。ご了承下さい。

◇年会費：正会員(卒業生)、会友共 3,000 円

◇振込先

—— 郵便局 ——

口座番号 00120-7-407637

加入者名 明治大学水曜会

—— 銀行 ——

口座名 三井住友銀行 日本橋東 支店
(店番号 034) 普通預金 口座番号 7592183受取人 めいじだいがく すいようかい じむきょくちょう
明治大学 水曜会 事務局長
ひらまつてつや
平松 哲也

本会の継続と安定的運営のためにご理解とご協力を重ねてお願いします。

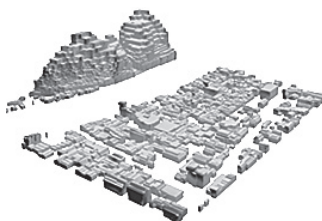
問合せ・連絡先 新事務局長 小山 実
(1982年坂上研) 日比谷総合設備㈱

TEL03-3454-1721

建築環境工学研究室

教授 酒井 孝司

私達、建築環境工学研究室は地球環境に配慮した快適な都市・居住空間の創出を目的とした研究室です。快適な環境を創出するために、熱、空気などの物理的現象及び人体の快適性に着目して研究を進めています。



伝統的市街地の風環境解析

今年度、本研究室ではCFDを用いた市街地の風環境評価に関するネスティングおよび通風利用可能性の検証、伝統的建築群の風環境評価、集合住宅における温熱環境実測とCFDによる数値解析結果の比較、AE-Sim/Heatを用いた多数室室温における暖冷房負荷の検討、不均一放射環境における快適性の評価、放射暖房方式を用いた時の室内温熱環境の把握、といった様々なテーマで、建築空間における快適性の追求だけでなく、建築の環境に関する負荷低減についても取り組みながら日々研究を行っています。

D-2 小野浩己

M-2 川村光 任賢豪

M-1 伊藤琢 伊藤雅敏 岡本直樹

卒論生 長幸宏 秋山隆典 柏木純希

隅田泰章 西山裕樹 山根雄太

建築環境デザイン研究室

准教授 加治屋 亮一

当研究室ではCFD解析(床暖房、ダブルスキ窓、空調ダクト)・実測(床暖房被験者実験、ダブルスキ窓、屋上緑化)・空調システムのエネルギーシミュレーションを軸に研究を行っております。今年は新たに和泉校舎のメディア棟にてダブルスキ窓の実測を実施し、解析との比較を通し、その効果をより詳細に検証しています。ま



た、例年通り月に一度、企業の方や外部の先生も招いた勉強会を実施していますが、そのほかにも週末等にOBの方がアドバイスにいらしたりと充実した環境のもとで研究を進めております。今年は大学院生・大学院進学予定者も多数おり、卒論生の手助けをしつつ、企業の研究所に出向いて大規模な実験も行うなど充実した体制で研究を行っています。他にも山中湖や平泉にも合宿に出向くなど明るく取り組んでいます。

M-2 小室 誠 助川竜広

M-1 柿原桜子

卒論生 赤尾裕次郎 今井将貴 大谷勝紀

鈴木優太 関祐一郎 戸部裕幹

八乙女由衣

研究生 浅川拓也

建築環境計画研究室

准教授 上野 佳奈子

建築環境計画研究室では、音・光環境を中心に、環境心理アプローチによって快適空間を追及する研究を行っています。本年度はゼミ生が8名配属され、上野先生、他大学の諸先生方のご指導の下、研究を進めています。

2011年度の卒業研究テーマ

- ・フットサル競技における音環境の関係
- ・クラシックバレエのための室内音環境
- ・外国語講習における室内環境の影響
- ・OP型教室における建築的要素の寄与
- ・建物騒音が騒音に与える影響の実測調査
- ・聴覚と身体運動における非同時性判断
- ・アンサンブル演奏時の時間遅延の影響
- ・立体音場再生システムの心理評価実験



建築環境心理研究室合同ゼミ(6月八王子)等、他大学との研究交流会にも積極的に参加しています。

M-2 小牟田桂吾 中田健一

中島ちひろ 星野知栄

M-1 野口喬矢

卒論生 泉 大貴 李 芝鮮 大竹可純

樋田浩一 羽鳥勇吾 福井誠人

吉光智哉 渡邊珠希

水曜会のホームページ紹介

広報部会 小野 浩己 (2008年酒井研)
水曜会では昨年度に独自ドメインを取得してホームページを立ち上げました。これまでも年1回の会報の発行や総会などを通じ、会員相互の情報交換や交流を図ってきましたが、より効率的に情報を配信すべく、整備を続けています。まだまだ情報不足で寂しいホームページではありますが、定期的に更新・拡充して会員の皆様に有益な情報を発信できればと思います。是非アクセスしてみてください。 URL: <http://www.meiji-suiyokai.com>

水曜会メールマガジン「W コミュニティ」

広報部会 久保 隆太郎
(2000年加治屋研)



昨年度、水曜会のメールマガジン「Wコミュニティ」を発行いたしました。第一号は、4名の方々に近況報告の執筆をお願いし、水曜会ホームページの専用メールから、メールアドレスがわかっている方々へ送信しています。会員皆様のメルマガへのご要望等、ございましたら、久保 (kuboryutaro@nikken.co.jp) までご連絡をお願いします。

総会の報告(平成23年6月22日)

明治大学リパティータワー岸本記念ホールにて、出席者50名、委任状161名、計211をもって総会が執り行われ、以下の議題が全て承認されました。

- ①平成22年度事業報告及び会計報告
- ②新役員及び三役
- ③平成23年度事業計画及び予算案

平成22年度会計報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日

[収入の部] (円)

項 目	予 算	決 算
1 前年度繰越金	1,048,606	1,048,606
2 会費120人分(92口)	360,000	276,000
3 総会費用差額		169,950
4 寄付金(前事務局より)		5,870
5 銀行利息	15	107
合 計	1,408,621	1,500,533

[支出の部] (円)

項 目	予 算	決 算
1 水曜会賞経費(2万円×4本、賞状印刷)	104,000	102,575
2 総会会場費	50,000	50,190
3 平成22年度総会案内発送費(往復はがき)	85,500	80,000
4 会報13号作成発送費	160,000	154,663
5 会議費(理事会4回)	50,000	30618
6 通信費・雑費(見学会お土産代 他)	10,000	15,000
7 新ゼミ生交流会	100,000	100,000
1～7 計	559,500	533,046
8 次年度繰越金	849,121	967,487
合 計	1,408,621	1,500,533

上記に相違無きことを認める。

監査役 平川 清
監査役 味元 建夫

平成22年度事業報告

5月12日 第1回理事会 14名+学生1名
6月30日 第2回理事会
総会 明治大学リパティータワー
講演会(戸田建設 小島邦春博士、懇談会)
7月21日 第3回理事会 8名
9月15日 第4回理事会 13名
10月14日 親睦会(第14回ゴルフコンペ岩瀬桜川CC)
10月29日 見学会(東京ガス港北NTビル)
12月15日 建築学科設備・環境系学生への建設業界セミナーへ協力
1月19日 第5回理事会
4月19日 第6回理事会 14名

平成23年度予算案

平成23年4月1日～平成24年3月31日

[収入の部] (円)

項 目	金 額
1 前年度繰越金	967,487
2 会費120人分	360,000
3 銀行利息	13
合 計	1,327,500

[支出の部] (円)

項 目	金 額
1 水曜会賞経費(2万円×4、賞状印刷)	103,000
2 総会会場費	51,000
3 平成23年度総会案内状発送費(往復はがき)	85,000
4 会報14号作成発送費	170,000
5 会議費(理事会6回)	60,000
6 通信費・雑費(見学会お土産代 他)	15,000
7 新ゼミ生交流会	100,000
8 次年度繰越金	743,500
合 計	1,327,500

平成23年度事業計画

今年度も下記の3つの部会を中心に活動します。会員の皆様方には、各部会が主催する行事への積極的な参加をお願いすると

もに、さらなるご協力をお願いします。なお、今年度の理事会は、6回開催する予定です。

■運営部会 部会長: 尾崎幸平

会員相互の交流と親睦を図ります。

総会開催後に懇親会を開催

ゴルフコンペを開催 平成23年10月15日(土); 岩瀬桜川CC

■研究部会 部会長: 中村昌行

講演会・見学会などの企画をします。

総会開催日に合わせて講演会を開催

技術見学会の開催 平成23年11月11日(金); 東京ガス千住スマートエネルギーネットワーク設備(コジェネ、再生可能エネルギーを融合した面的利活用設備)

■広報部会 部会長: 田村仁一

会員間の情報交換を図ります。

第14号会報の発行 平成23年12月

ホームページ(<http://meiji-suiyokai.com/index.html>)の管理、メールマガジンの発行

■環境設備系の新ゼミ生との交流

新ゼミ生に対して、建設業界の説明会を開催 平成23年12月14日(水)

第15回水曜会ゴルフコンペ 開催

平成23年10月15日(土)第15回水曜会ゴルフコンペは昨年同様、岩瀬桜川CCへのバスツアーで開催されました。生憎の雨模様でしたが、エントリーされた19名全員が参加され、幅広い年齢層で熱戦が繰り広げられました。優勝は82年卒業の戸邊氏が、準優勝は加治屋先生が入り、三位は76の驚異的なベスグロを叩き出した実力者の伊豆丸氏でした。帰りのバスで表彰式が行われ、お酒を片手のゴルフ談議で大いに盛り上りました。コンペの様子は、ホームページでもご紹介しています。

優 勝 戸邊 和幸(1982年卒)グロス 98 NET 69.2
準優勝 加治屋亮一(1970年卒)グロス142 NET 70.0
第3位 伊豆丸 暢(1982年卒)グロス 76 NET 71.2
その他の出席者は以下の通りです。敬称略(卒業年度)
常田(61) 和田(61) 茂木(61) 富田(66) 平川(66)
光野(66) 須藤(75) 中村(78) 志賀(78) 平松(79)
小山(82) 吉田(83) 内田(88) 酒井(90) 中澤(05)
光永(06)

2012年も10月頃に開催を予定しております。

お気軽に幹事までご連絡ください。

幹事 運営部会 戸邊 和幸 (1982年篠原研)

運営部会 伊豆丸 暢 (1982年篠原研)



編集後記

昨年まで会報の編集をご担当いただきました坏先輩の後を受け、第14号の会報から私が担当させていただくことになりました。坏先輩から引継ぐにあたり、完璧な資料をお預かりし、編集作業の事が全く分からない私も何とか会報を無事発行することができました。次号以降の会報につきまして、皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。広報部会 金井 伸二(1983年篠原研)